

員の反撥心を助長せしめし観なきにあらず、

果せる哉、十日午前安治川支部に於ては、解雇に對し評議員會を行ひ(一)解雇職工は斷然復歸せざることを、(二)解雇手當は三日以内に支給を受くることの決議をなして、更に十時半より開ける大會に提出し、満場一致之を可決し、強硬の度を加ふるに至りぬ

一方兩方の職首工は前夜指定せる春日出發電所北詰の廣場に詰め掛けしも屋外集會を禁せられしため北區西野田兼平町の西法寺に交渉して同寺を會場と定め、正午より同寺に於て評議員會を開き、午後一時より引續き全職首者參集の下に大會を開催したり

▽戰鬥方針の決定

再度の要求開始と共に事件は急轉直下の勢ひを以て推進み、會社と従業員との間には宣戰の布告を見たるが、之れが謀議に參割せし友愛會は十日夜開催の豫定なりし電業員組合代表糺彈協議會を變更して同夜八時半より罷業に關する協議會を開き、西尾、東、楠瀬(友)、安藝、矢野、藤澤(印)、安藤(新進)植田(友禪)等の諸氏列席し、團體交渉權の問題は労働團體の生命たるのみならず、既に會社が總職首の如き暴慢なる手段に出でし以上は、結果の利不利に關せず敢然起つて會社と死戰すべしと爲し、茲に關西労働組合聯合會の承認を得て友愛會に所屬する各團體は公然大電従業員を援助するに決

し、直に西尾、東の兩氏を實行委員に擧げ種々戰鬥方法に就いて熟議を凝せり。

愈々持久戰に入りし十一日、職首職工は早朝より安治川支部に集合し罷工歌を高唱して對峙しつつ、ある處へ、前夜後援を決議せる友愛會の西尾主事來りて、激勵演説を試み罷業團の氣勢を添へたる上、一同の結束を固める爲め名簿を作製して連盟に捺印せしめ、又腰弱連の足止め策として戸別訪問委員を選任し、更に社會一般の同情を仰ぐために「敢て天下の志士仁人に訴ふ」と題せる宣傳ビラと、罷業者以外の大電従業員に對する「大電従業員に徹す」「大阪電燈會社就職者に徹す」の宣傳ビラ揭示文を作成し、同日夜天王寺公會堂に開催せる第一回大電問題批判演説會に於て一般に配布せり。

結束を強むるための方法

- 一、職首職工の人員點呼をなし罷業職工の署名捺印を爲さしむること
- 二、三人を一組させる訪問隊十五組を組織し各職首職工の自宅を訪問せしめ、其在否を亂し行先を確め、若し會社に出勤せる事を知りたる時は其家族に注意する事
- 三、一組三人とする一隊を十五組組織し春日川、安治川兩發電所方面に派遣して、會社が職工を狩り出す方法を調査せしむること
- 四、一組三人若くは五人を一隊とせるを、各停車場及電車停留場等に派遣し、各地方より職工の雇入模様ある時は各自に對する注意を與ふる事

敢て天下の志士に訴へます!!!